



2018年5月期

第2四半期累計期間 決算説明資料

(2017年6月1日～2017年11月30日)



会社概要

- 創業 : 1966年(昭和41年)3月
- 設立 : 1971年(昭和46年)6月
- 資本金 : 18億7,408万円
- 代表者 : 代表取締役社長 竹田雄一
- 従業員数 : 196名(正社員176名、準社員20名)【連結】
- 敷地面積 : 44,149m²
- 所在地 : 石川県能美市粟生町西132番地
- 生產品目 : 形鋼加工機、丸鋸切断機、金型、その他(受託事業)
- 取引銀行 : 北國銀行、福井銀行、商工中金、三菱東京UFJ銀行
- 営業所 : 仙台、北関東、東京、名古屋、北陸、大阪、広島、九州
- 納入先 : 鉄骨・鋼材加工会社、製缶・板金加工会社、その他金属加工会社
- 代理店 : 機械工具関連商社、溶材関連商社、鋼材関連商社

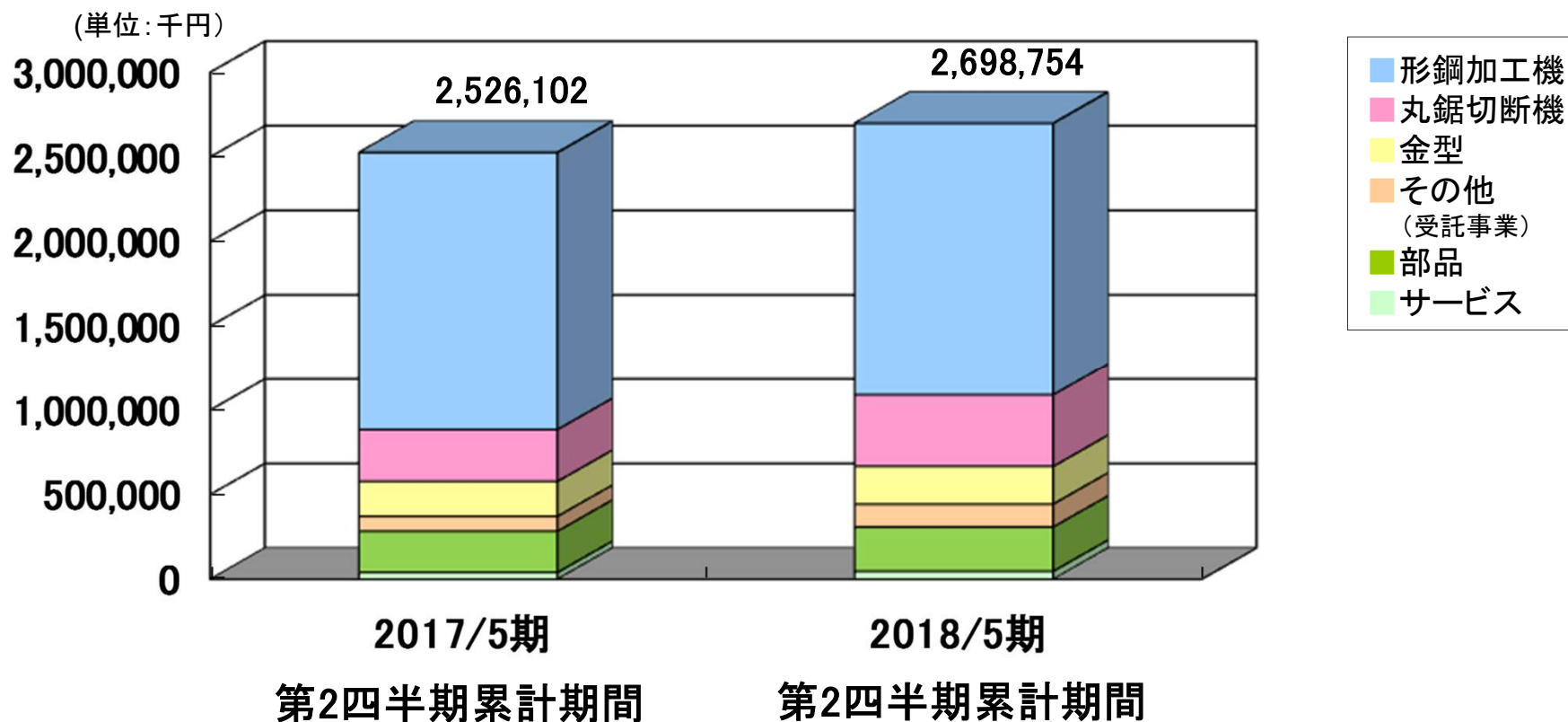
株主構成

●株主の状況(2017年11月末現在)

	株主総数		構成比率	発行済株式総数		構成比率
個人	853	名	91.82%	6,637,751	株	65.08%
金融機関	5	名	0.54%	1,022,000	株	10.02%
法人	47	名	5.06%	2,063,801	株	20.23%
証券会社	11	名	1.18%	227,454	株	2.23%
その他	13	名	1.40%	248,994	株	2.44%
合計	929	名	100.00%	10,200,000	株	100.00%

2018年5月期
第2四半期累計期間
業績状況

売上高【連結】



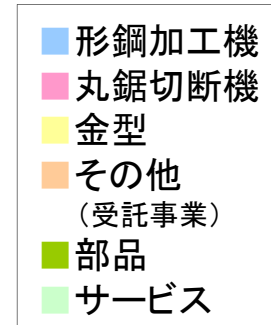
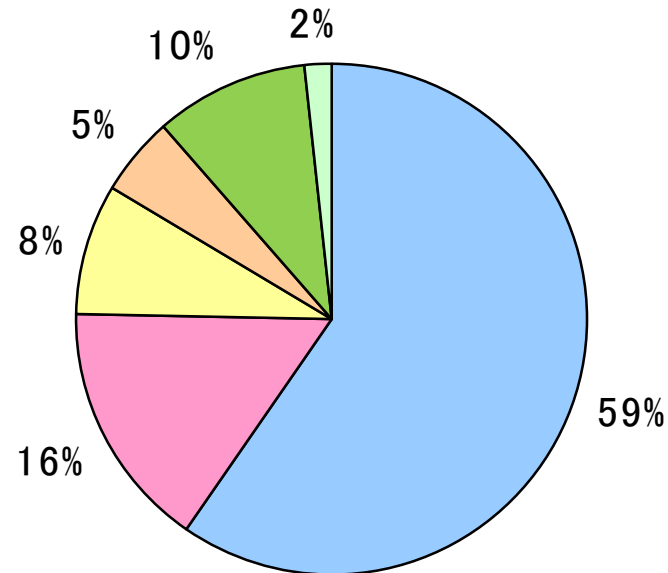
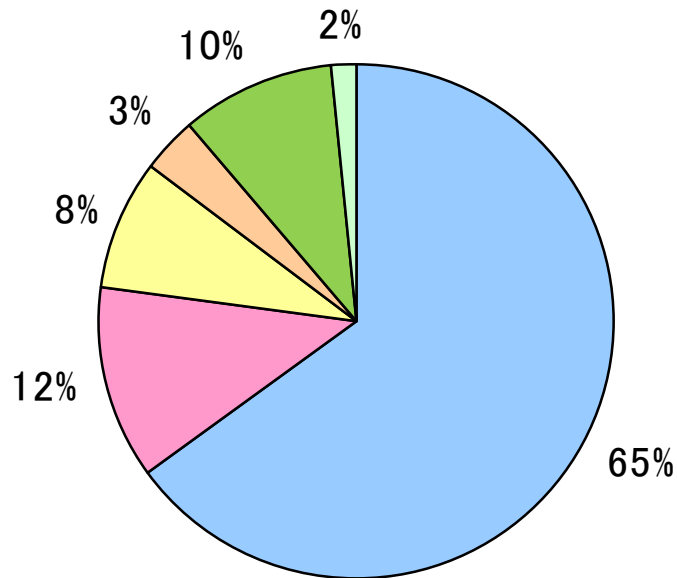
当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、北朝鮮問題等の地政学的リスクを受け、景気の先行きに予断を許さない状況が続いているものの、政府による景気対策の後押し等もあり、国内の企業収益や雇用情勢に改善がみられ、底堅く推移しました。

このような状況の下、当社グループは「お客様視点のものづくり」を基本原点に、新製品開発の促進、提案営業の展開、保守サービスの充実、付加価値の改善等に積極的に取り組んでまいりました。

売上構成比の比較【連結】

2017/5期 第2四半期累計期間

2018/5期 第2四半期累計期間



●部門別売上高

(単位: 千円)

	形鋼加工機	丸鋸切断機	金型	その他	部品	サービス	合計
2017/5期 第2四半期累計期間	1,641,909	306,586	206,250	87,975	243,646	39,733	2,526,102
2018/5期 第2四半期累計期間	1,608,505	423,761	222,507	135,696	261,562	46,720	2,698,754

貸借対照表【連結】

(単位:千円)

	2017/5期 第2四半期累計期間	2018/5期 第2四半期累計期間	前期比増減額
流動資産	3,376,017	3,438,855	62,838
固定資産	2,683,585	2,576,715	▲106,869
資産合計	6,059,603	6,015,571	▲44,031
流動負債	2,062,210	2,018,177	▲44,032
固定負債	1,459,761	1,014,460	▲445,300
負債合計	3,521,971	3,032,638	▲489,333
資本金	1,874,083	1,874,083	—
剰余金等	663,547	1,108,849	445,301
純資産合計	2,537,631	2,982,933	445,301
負債・純資産合計	6,059,603	6,015,571	▲44,031

損益計算書【連結】

(単位:千円)

	2017/5期 第2四半期累計期間	2018/5期 第2四半期累計期間	前期比増減額
売上高	2,526,102	2,698,754	172,652
売上原価	1,806,430	1,919,521	113,091
販売費・一般管理費	447,815	437,250	▲10,565
営業利益	271,856	341,982	70,125
営業外収益	34,474	25,256	▲9,218
営業外費用	24,173	18,840	▲5,333
経常利益	282,157	348,398	66,240
特別損益	1,499	2,518	1,018
法人税等その他	105,281	122,113	16,832
親会社株主に帰属する 四半期純利益	178,376	228,802	50,426

キャッシュ・フロー計算書【連結】

(単位:千円)

	2017/5期 第2四半期累計期間	2018/5期 第2四半期累計期間	前期比増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	▲86,689	199,161	285,581
投資活動による キャッシュ・フロー	▲42,432	74,704	117,136
財務活動による キャッシュ・フロー	199,349	▲319,797	▲519,147
現金及び現金同等物に 係る換算差額	—	629	629
現金及び現金同等物の 増減額(▲は減少)	70,227	▲45,302	▲115,529
現金及び現金同等物の 期末残高	306,778	293,166	▲13,611

2018年5月期 業績予想

2018／5期通期予想1

●主要カテゴリー

●形鋼加工機

形鋼加工機における日本国内の設備投資マインドは、慎重な姿勢になりつつも、東京オリンピック、都市圏の鋼構造物プロジェクト、国土強靱化基本計画による国内インフラ補強などの内需によって、継続的な需要を見込んでいます。

海外においては、地政学的リスクによる為替変動が懸念されますが、特に戦略重点エリアである東南アジア地区の旺盛なインフラ投資需要を取り込み、前年度の売上高を上回るものと予測しております。

●丸鋸切断機

丸鋸切断機については、国内外の広範囲な産業界のニーズに対応する製品のラインナップを拡充することにより、形鋼加工機と同様に前年度の売上高を上回るものと予測しております。

2018／5期通期予想修正2【連結】

●売上高の実績及び予想

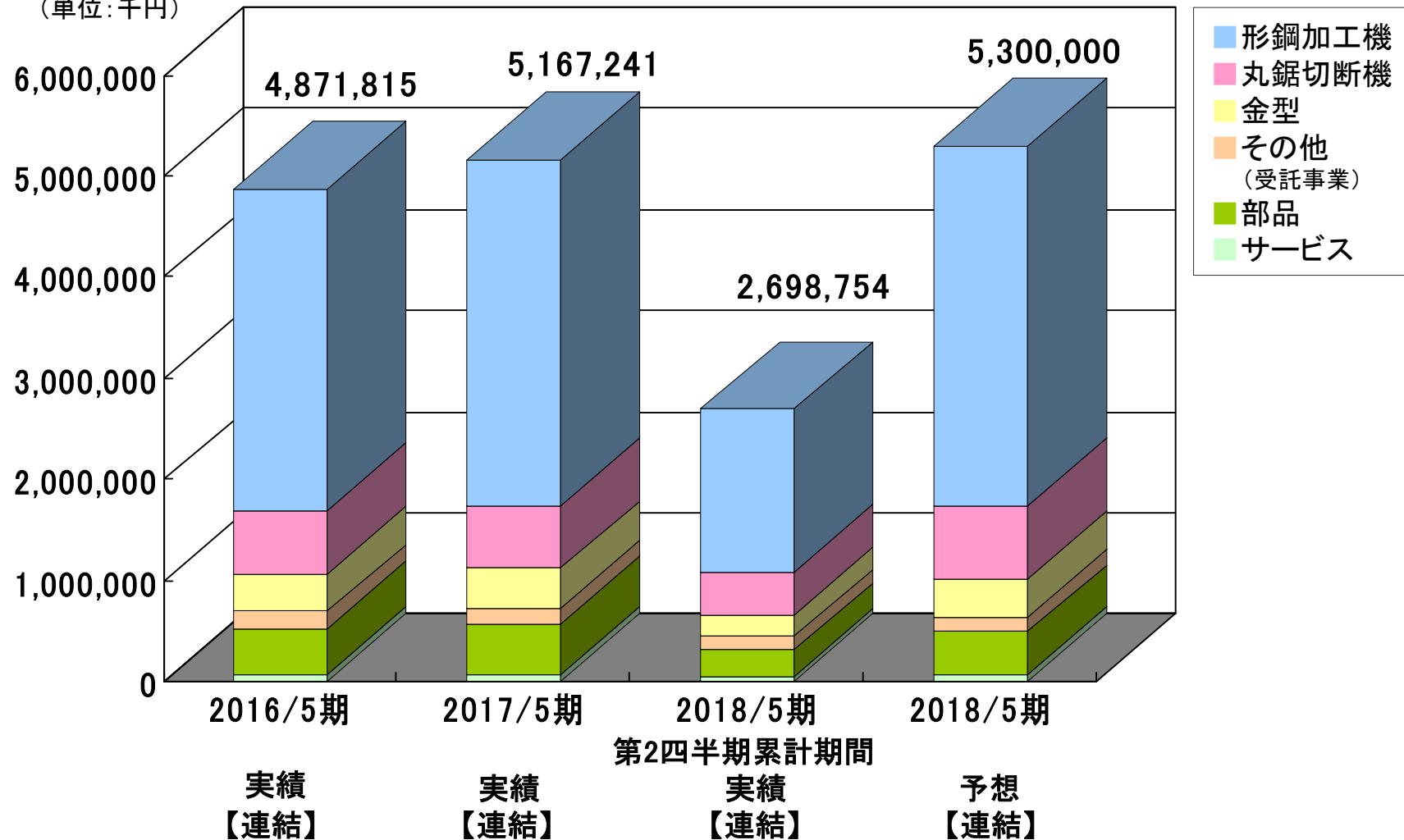
(単位:千円)

	2017／5期 (実績)	2018／5期 (予想)	構成比率	前期比 増減率
形鋼加工機	3,425,014	3,563,150	67.2%	4.0%
丸鋸切断機	619,521	725,500	13.7%	17.1%
金 型	387,609	366,000	6.9%	▲5.6%
その他 (受託事業他)	162,420	153,350	2.9%	▲5.6%
部 品	492,074	420,000	7.9%	▲14.6%
サービス	80,601	72,000	1.4%	▲10.7%
合 計	5,167,241	5,300,000	100.0%	2.6%

2018／5期通期予想修正3【連結】

●売上高構成比の増減予想

(単位:千円)



2018／5期通期予想修正4【連結】

●損益計算書の実績及び予想

(単位:千円)

	2017／5期 (実績)	2018／5期 (予想)	前期比 増減率
売上高	5,167,241	5,300,000	2.6%
売上原価	3,630,670	3,747,129	3.2%
販売費・一般管理費	917,535	911,008	▲0.7%
営業利益	619,035	641,863	3.7%
営業外損益	5,045	8,137	61.3%
経常利益	624,080	650,000	4.2%
特別損益	28,128	0	—
法人税等その他	215,745	218,713	1.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	436,464	431,287	▲1.2%

事業戦略

中期経営方針

経営の基本方針

当社グループは、「技術創造」「社会貢献」「明るい社風」を経営理念に掲げ、「株主」「取引先」「社員」及び「地域社会」に対して、適正な利益還元による満足度の向上を経営の基本理念とし、「他社の追随を許さない技術力と製品の提供」を常に心がけ、お客様からの高い満足と信頼を得られる企業づくりを目標に、事業展開してまいります。

中期的な経営戦略

当社グループは、建築鉄骨業界・自動車関連業界を主力とする形鋼加工機、丸鋸切断機の製造販売をコア事業と位置付け、「お客様視点のものづくり」を基本原点に、グローバルな競合他社に負けない競争力を強化すべく、基盤体制づくりを進めています。また、市場の拡大を図るため、中国・韓国・台湾及び東南アジアを主体とするグローバルステージに参画し、企業価値を高めると共に安定した収益を確保できる企業体質の構築を目指していきます。

重点戦略

1. インフラ整備関連・近代化プロジェクト需要をターゲットに「海外売上高の飛躍」
2. 開発システム・品質システムの構築で「製品開発力を強化」
3. IOT技術を活用した製造原価低減とトータルコスト削減で「付加価値の向上」
4. 従業員のスキルアップ・管理階層の若返りを目的とする「人材育成の強化」

I R 情報に関するお問合せ先

I R 窓口担当者： 取締役管理部長 鈴木 修平
連絡先 : TEL (0761)58-8231
 FAX (0761)58-6863
 E-mail kanri@takeda-mc.co.jp
 URL <http://www.takeda-mc.co.jp>

☆ご注意

本資料内の予想数値及び計画数値、事業戦略等につきましては、発表日時点において把握していました情報から、当社が合理的と判断したものを掲載しています。

従いまして、経済環境、事業環境の変化にともない、実際の業績等と異なる場合がありますことを、あらかじめご了承くださいませようお願い申し上げます。